

スタートダッシュ

各教科の授業がスタートして、約1か月が経（た）ちました。1年生の皆さんは、中学校の授業には慣れてきましたか。2年生の皆さんは、授業への取組はどうですか。家庭学習は習慣化されていますか。後になってわかることですが、学習のことを考えると、中学2年生の1学期がターニングポイントとなります。ターニングポイントとは、変わり目、分岐点（ぶんきてん）のことです。2年生の1学期に、どのような心がまえで、どんな学習を進めていくかが、とても重要になります。

3年生の皆さんは、毎日、充実していますか。家に帰ってから、毎日、机に向かっていますか。自分の学習について作戦は立ててありますか。数学や英語が苦手な人と、理科や社会が苦手な人とでは、作戦が違ってきます。何をどのくらいの時間をかけてやるのか、計画を立てておく必要があります。

自分の生活を振り返ってみて、直そうとは思っていても、なかなか直せないでいることはありませんか。直せない原因は何でしょうか。5月のうちに何とかしないと、そのまま夏休みまでいってしまうことがあります。あるいは、来年の3月までいってしまうかもしれません。

自分の生活をいろいろな点から点検してみて、“スタートダッシュ”がうまくいったのかどうか、考えてみる必要があります。うまくいっていないとしたら、遅れを取り戻さなければなりません。焦（あせ）る必要はありません。焦って無理をしても続きません。自分にできることを、毎日、少しずつやることです。大事なことは、「毎日」です。

昔のことですが、私は中学2年生で、スタートダッシュに失敗しました。そもそも心がまえがありませんでした。目標は書いたり言ったりしなければならぬので、それなりに考えました。しかし、本気ではなかったと思います。目指すものがない人間は弱いものです。学習面にも部活動の面にも、わるい影響（えいきょう）が出ました。

6月に支部中体連大会がありました。そのときに、顧問の先生から本気で怒られました。それで、目が覚（さ）めました。あれほど大好きだった部活動もだめになっていたのかもしれません。あのときに、先生が怒ってくれなかったら、その後の中学生生活は変わっていたと思います。

私の場合は、スタートダッシュの失敗を、部活動の先生に補（おぎな）ってもらいました。自分のことを本気で考えてくれる人の存在は大きいものです。皆さんのスタートダッシュは、うまくいきましたか。